

12月の催事のお知らせ

PIKKUJOULU — 小さなクリスマス —

PIKKUJOULU（ピックヨウル）とは、クリスマスシーズンに親しい友人などを招いて行なわれるフィンランドの小さなパーティのこと。スパイラルでは、街がクリスマスの空気に包まれる12月に「PIKKUJOULU（ピックヨウル）」をテーマに、展覧会やフェアを通して、“ここちよい”冬の過ごし方をご提案します。

Exhibition

wander —めぐる—



ぬくもりと詩情を感じる
その時間を少しだけ

日々の中に隠れていた
かけがいのない喜び

ただ一度きりのときと出逢う「巡る」と
繋がっていくときを想う「廻る」

ふたりの作家による、めぐるといふ問いかけ

Spiral Garden では、2019年12月16日(月)～29日(日)に「wander —めぐる—」を開催いたします。本展は、写真家の本多康司とフラワーアーティストの篠崎恵美のふたりの作家が、ここから先へと続いていく“めぐる”をテーマに共振し、北欧の暮らしの身近にある自然から着想した作品を表現します。ひとときの寛ぎが感じられる空間と、心豊かな時間をぜひご体感ください。

wander —めぐる—

日時：2019年12月16日(月)～29日(日) 11:00～20:00

会場：Spiral Garden (Spiral 1F) 入場無料

参加作家：本多康司（フォトグラファー）、篠崎恵美（フラワーアーティスト）

URL：<https://www.spiral.co.jp/topics/spiral-garden/wander>

■掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。
スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 瀧本恵理
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7840
E-mail press@spiral.co.jp <https://www.spiral.co.jp>

spiral.



本多康司

1979年愛知県生まれ、兵庫県育ち。熊本大学工学部卒業。長野博文氏、泊昭雄氏に師事後、2009年に独立。商業フォトグラファーとして広告や雑誌、書籍を中心に活動。一方で主な作品制作として、2013年にミナペルホネンよりフィンランドの風景をピンホールで撮影した写真集「suomi」、2017年に自費出版で空間との距離感を大切に撮影した写真集「madori」を発表。



篠崎恵美 (edenworks)

独自の感性で花の可能性を見つけ、植物と様々なアイテムを使って店内装飾からウィンドウ、雑誌、広告、CM、ミュージックビデオ、商品パッケージなど、花にまつわる様々な創作を手掛ける。週末限定のフラワーショップ "edenworks bedroom"のほか、紙の花のプロジェクト"PAPER EDEN"やドライフラワーショップ "EW.Pharmacy" を展開。2019年には、花を捨てずに未来に何を残すか考えるコンセプトショップ "PLANT by edenworks" をオープン。

Exhibition & Shop

MINA-TO Arts Marche vol.3 Pikkujoulu —小さなクリスマスパーティー



スパイラル 1F の MINA-TO では、12月2日(月)～23日(月)に、アートをもっと生活の中に取り入れていただくことをコンセプトに、気鋭のアーティストが作り出すアートピースをご紹介します

『MINA-TO Arts Marche vol.3』を開催します。

第3回目となる今回は、ベッドに入ってドキドキしながら、少し不思議で奇妙な気持ちに包まれていた、子供の頃のクリスマスをイメージして、家具・アート作品・プロダクトなど、ギフトにもぴったりのアイテムが並ぶクリスマスマルシェが登場。今回のために、いでたつひろが描き下ろした絵画や、気鋭のブランドの一点物のアイテムなど多数展開します。懐かしくて、それでいて新鮮な、わくわくするクリスマスのお買い物をお楽しみください。

MINA-TO Arts Marche vol.3 Pikkujoulu —小さなクリスマスパーティー

日時：2019年12月2日（月）～23日（月）11：00～20：00

※12月14日（土）、20日（金）、21日（土）は21:00まで営業

場所：MINA-TO（Spiral 1F）

参加作家・ブランド：いでたつひろ、Ewelina Skowronska、Eleonor Bostrom、カワイハルナ、片岡メリヤス、zaziquo、Studio BOWL、SPOLOGUM、Polly Fern、Marianne Hallberg、mie takahashi 他
協力：E&YURL：https://www.spiral.co.jp/topics/mina_to/pikkujoulu**E&Y**

E&Y／イーアンドワイ

東京を拠点に家具やオブジェクトの編集と開発、製作及び販売を行うファニチャーレーベル。そのデザインリソースは、日々進化してゆく世界中のデザイナーからによるもので、ミラノやロンドン、東京などの国内外で新作を発表し、コレクションは50作品以上になる。また、デザイナーやアーティスト、建築家と共に、プロジェクトの為にアーティスト作品やオリジナルプロダクトの開発も行っている。E&Yの作品の一部は、MoMA（ニューヨーク近代美術館）、ロンドンデザインミュージアム、パリ装飾芸術美術館、スウェーデン国立美術館などに収蔵されている。
eandy.com



いでたつひろ

2009年より絵描きとして活動開始。モノクロームの作品を描く。

<https://idetatsuhiro.tumblr.com/><https://www.instagram.com/idetatsuhiro/?hl=ja>

Ewelina Skowronska／エヴェリナ・スコヴロンスカ

1980年ポーランド生まれ。ビジュアルアーティスト、プリントメイカー。広告業界でキャリアを積んだ後、2013年にアーティストに転身。ロンドン芸術大学にてビジュアルアーツ(視覚芸術)専攻課程終了。東京を拠点に活動。グループ展や個展(イギリス、アメリカ、カナダ、アイルランド、ポートランド、東京)にて作品を発表している。ewelinaskowronska.com



Eleonor Boström / エレオノール・ボストロム

1985年スウェーデンのストックホルム生まれ。美術大学を卒業後、ベルリンに拠点を移す。現在はストックホルムとサンフランシスコを行き来しながら制作を続ける。10年以上「犬」をテーマに作品を作っている。

eleonorbostrom.se



片岡メリヤス

主にぬいぐるみ・動くおもちゃ・光るおもちゃ・などを制作。飾るだけではなく、遊べて愛のあるぬいぐるみを作る。オリジナルの人形劇を各地で上演。全国の個人商店を応援する漫画「片岡おへんろ」執筆。

[instagram.com/kataokameriyasu](https://www.instagram.com/kataokameriyasu)



カワイハルナ

物体と物体で構成された独自の造形物を描いている。国内外の展示に参加。壁画、装幀画、プロダクトデザインなど様々な分野で活動している。第17回グラフィック1_wallファイナリスト。

[instagram.com/haruna_kawai](https://www.instagram.com/haruna_kawai)



zaziquo / ザジコ

デザイナー：清水えり子

刺繍やプリンティングを主に使用したオリジナルの技法を組み合わせたテキスタイルを提案するブランド。「手作業特有のあたたかみを持ちながら洗練されていること」「感覚とユーモア」をコンセプトに掲げ、オリジナル商品の展開の他、企業へのデザイン提供、アートピース制作、テキスタイル監修、ウィンドウディスプレイ制作などを手がける。zazizazizazi.com



studioBOWL / スタジオボウル

インテリアアーティスト：Ryohei murakami

2012年武蔵野美術大学油絵学科油画専攻卒業後、2013年よりstudioBOWL名義での活動を開始。“見たことのあるもので見たことのない、シンボリックなビジュアルを”というコンセプトのもと、インテリアアーティストとして店舗内装、什器造作、企業オフィスへのアートワーク提供、ウィンドウディスプレイなど空間に関するプロジェクトを多岐に渡り行っている。studiobowl.com



SPOLOGUM / スポログム

デザイナー：野中厚志・森由江

衣服やテキスタイル、アートにわたって活動するブランド。衣服への表現に留まらず、空間デザイン、アートワークに至る様々なアプローチを試みる。

spologum.com



Polly Fern / ポーリー・ファーン

1994年イギリス東部ノリッチ生まれ。陶器作品やイラストは、オーガニックな日常生活、物語、自身の子供時代からインスパイアされた「新しい懐かしさ」を感じさせる。7万人のSNSフォロワーを持つ次世代アーティストでありながら、都会は苦手。

pollyfern.com



Pfütze / プフツェ

デザイナー：北 康孝・賀来 綾子

北は多摩美術大学、賀来は東京造形大学卒業。2007年からPfützeとして活動を始め、二人でデザインから制作までを行なっている。〈Pfütze（プフツェ）〉とはドイツ語で「水たまり」の意味。デザインはすべて自然物・現象をモチーフとしている。新鮮な驚きやおもしろさとともに、美しいと感じるもの、身につける楽しさを感じてもらえるものを作っていきたいと考えている。

pfutze.com



Marianne Hallberg / マリアンヌ・ハルバーグ

1952年スウェーデン・ヨーテボリ生まれ。青春時代に世界を放浪した後、地元ヨーテボリで作陶を開始する。前衛性とクールなユーモアが同居した、平面が立ち上がったような独特の作風は、世界中の先進的クリエイターが注目している。

tonkachi.co.jp/artist/marianne-hallberg



高橋美衣 / Mie Takahashi

1994年北海道生まれ。横浜美術大学美術学部美術学科工芸領域クラフトデザインコース卒業。日々のドローイングからヒントを得たかたちに鮮やかな色彩やマットな質感をほどこした作品を制作している。

[instagram.com/Mie__takahashi](https://www.instagram.com/Mie__takahashi)



YURI HIMURO / ユリ ヒムロ

日本とフィンランドでテキスタイルを学び活動しているテキスタイルデザイナー。人と布との関わりを通して、日々驚きや楽しさをもたらし、豊かにしていくことをテーマにテキスタイルブランド YURI HIMURO を立ち上げ、オリジナル作品の開発、空間演出、企業へのデザイン提供などを行う。

h-m-r.net

Shop

Satoko Sai+Tomoko Kurahara POP UP “crossing cities - found colors”



交差する色、時間、風景、感情——。

街も華やぐクリスマスから年末の高揚感、雪の降り積もる静かな時間、室内で囲む賑やかな食卓。冬は私たちに様々な時間や風景を運んでくれます。Spiral Market の今季のテーマはそんな冬をイメージした“Crossing”。陶芸作家ユニット〈Satoko Sai + Tomoko Kurahara〉の制作した色とりどりの陶器タイルをメインビジュアルに起用し、そのデザインから期間限定のラッピングペーパーやオリジナルアイテムを作りました。また、Spiral Market では 12 月 2 日より、おふたりがテーマに合わせて制作されたカップ等の陶器作品を販売するイベントも開催します。〈Satoko Sai + Tomoko Kurahara〉の作品で彩られた Spiral Market の冬をお楽しみください。

Satoko Sai+Tomoko Kurahara POP UP “crossing cities - found colors”

日時：2019年12月2日（月）～29日（日）11：00～20：00

※12月14日（土）、20日（金）、21日（土）は21:00まで営業

場所：Spiral Market（Spiral 2F）

<https://www.spiral.co.jp/topics/spiral-market/news/spiral-market-winter-2019-2020-crossing>

Satoko Sai + Tomoko Kurahara（サトコサイ・プラス・トモコクラハラ）

崔聡子と蔵原智子による陶芸作家ユニット。

共に多摩美術大学工芸学科にて陶を専攻し、2002年卒業と同時に共同制作を開始しました。その後2005年に崔は韓国へ留学、2002年から2005年に蔵原はフィンランドへ留学。距離を隔てた活動期間を経て、2006年滋賀県信楽陶芸の森アーティスト・イン・レジデンスプログラム参加。同年より東京のアトリエに拠点をしています。